

平群

Heguri

≡ 議会だより 3月定例会

No.245

平成26年5月1日
発行:奈良県平群町議会

第1回定例会(3月)

議決結果	2
質疑あれこれ	3~5
議員提出議案・議会の動き	5
予算審査特別委員長報告	6~8
文教厚生委員長報告	9
町政を問う!一般質問	10~15
町の話題	16



平群東小学校閉校式 児童代表あいさつ



平群西小学校閉校式 児童代表あいさつ

質疑あれこれ

3月議会に上程された
議案及び質疑を紹介します。

防犯灯取替事業分担金 徴収条例の制定

自治会が管理する防犯灯のLED化をすすめるため、自治会の要望に応じて取り替えを行う事業実施のために条例を制定するものです。

なお、工事は町が一括して実施しますが、各自治会は工事費の40%を負担する内容で、3年間の時限条例です。

主な質疑

質問 新年度予算は2256万5千円。自治会管理の防犯灯

だけでなく、町管理もあると思うが、財源も含めて具体的に説明を。

答弁 町管理745灯のうち未実施の403灯のLED化と自治会管理701灯のLED化を予算措置している。財源は90%が起債で、そのうち30%が次年度から交付税算入がある。

質問 自治会管理の防犯灯の取り替えのスケジュールは。

答弁 5月末までに各自治会の要望を取りまとめ、7月末までに工事業者を選定。そこで施工費が決まるので、自治会宛に要望基数に応じた金額を通知。工事は8月中旬から着手し、12月末までに終わりたいと考えている。

質問 3年間の時限立法であるので、3年間で100%を達成する意気込みを。

答弁 環境への負荷や経費も軽減できるメリットがあるの

で、3年間で完了できるように町からも自治会にお願いしていく。

公告式条例の一部改正

西小学校前に設置している公告掲示場を廃止するためのものです。

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

職員の特殊勤務手当のうち、町税徴収手当、環境衛生業務手当、出納業務手当、乗務手当の不支給をひきつづき1年間延長するためのものです。

学校給食センターの管理に関する条例の一部改正

東小学校と西小学校の統廃合に伴い、東・西両校の名称を削除し、新たに平群小学校として条例に掲載するためのものです。

体育施設条例の一部改正

梨本テニスコートを廃止し、旧平群西小学校の体育施設を追加、体育施設の一部料金改定を行うためのものです。

主な質疑

質問 西小学校の体育館は学

校でなくなることから、日中でも使用できるようにすべきではないか。

答弁 現在利用されている団体があることから、暫定的な激変緩和措置としてのもの。

日中については、利用団体等の意見も聞いて対応したい。

学校体育施設開放条例の一部改正

東小学校と西小学校の廃止、平群小学校の設置に伴い条文を整理するためのものです。

消防団員等公務災害補償条例の一部改正

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い条文を整理するためのものです。

25年度一般会計補正予算(第4号)

補正額は4億1221万8千円。歳出の主なものは、異動等に伴う人件費の調整のほか、今年度未退職者の退職手当組合特別負担金1304万円、国の補正予算に伴い前倒しで実施する町道やトンネルの維持補修工

費6800万円、東小学校大規模改造2期分の前倒しで2億7528万9千円などをそれぞれ増額します。

歳入の主なものは、国の補正予算による前倒し事業などに伴う国庫補助金1億3240万6千円、町債2億1450万円が増額されます。このほか、ふるさと納税寄付金500万円、西和消防組合解散に伴う財産処分返戻金6025万8千円を増額措置されました。

歳入歳出の差引の歳入超過分6617万7千円は、財政調整基金に積み立てます。

主な質疑

質問 人件費の調整額は。

答弁 退職や育児休業、異動等で1920万円の減額。

質問 西和消防組合解散の返戻金の積算根拠は。

答弁 西和消防の基金のうち起債の繰上償還を除く4億3581万円を分担金率にもとづいて、構成する7町で案分した金額。

次ページへつづく

質問 今回補正後の借り換えを除いた25年度の起債発行額はいくらになるのか。

答弁 平成25年度の新規発行額は21億8888万6千円。

質問 ふるさと納税での500万円の内訳と企画費の5万円についての説明を。

答弁 500万円は1名の方から。企画費の5万円は、ふるさと納税（寄附）していただいた方に、謝辞をあらわすものとして、何がしかの記念品を贈るために計上したものだ。

質問 新年度予算の企画費5万円。どこにどのような内容で委託するのか。

答弁 地域振興センターと業務契約をして、ふるさと納税の寄附者が選んだ平群町の特産品を贈るもの。

質問 町内の保育枠の状況はどのようになっているのか。

答弁 26年度の現時点の状況は、南保育園が定員110人に対して105人、はなさと保育園が定員130人に対して12

5人が入園を希望している。

質問 道路維持補修工事5700万円の内訳は。

答弁 継続的に行っている緑ヶ丘循環路線の歩道改修工事、四辻路線歩道設置工事、幼保一体化施設建設に伴う歩道設置工事、榎原トンネルの点検もセットにした委託業務。

質問 衛生費の検査検診委託料が800万円減額。予防接種は何人減ったのか。

答弁 4種混合ワクチンで17人分、不活化ポリオで194人分、日本脳炎1期で137人分、2期で269人分、子宮頸がん検診で179人分を減額。

理由は、子宮頸がんの予防接種を昨年6月から積極的勧奨をひかえることになったことによるもので、金額的に大きい。その他は、接種者数が読みづらかったことによるもの。

質問 中学校費の改良工事費820万円の内訳は。

答弁 会議室、図書室、美術室、音楽室の空調設備の改修と、体育館の内装とトイレの改

修、身障者対応トイレを新設する。

質問 東小学校の大規模改修で3500万円増額になっているようだが、その説明を。

答弁 契約額が4億6400万円で議会の承認をもらっている。工事進捗の中で、学校側からの追加要望や保護者から安全面の要望が出たことによるもの。LEDへの変更で1000万円程度増加している。

質問 追加項目は、当初から設計に入っていて当然のものと思う。改修工事をする際に、LED化は当然入っていないければならないもの。どういった視点で設計者を選んだのか、設計のチェック体制がとられていないという問題にまで発展する。教育委員会の見解は。

答弁 財政状況が悪い中で、出来るだけ使えるものは使うという観点で設計が組み立てられた。しかし、実際の施工段階で学校や保護者の要望で追加項目がでた。LED化もこの際にしておくのが適切と判断して変更した。

質問 減額項目は一切なかったのか。

答弁 効果が一緒に低額でやれるものは話し合い、減額の部分もでている。

25年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正総額は581万7千円。

歳入では、保険財政安定化事業拠出金の確定に伴う負担金補助および交付金の増額と、人間ドック等の総合検診の委託料、負担金補助、交付金の増額。歳入では、保険財政安定化事業交付金の増額。歳入歳出の差引不足額256万円は、財政調整基金繰入金で調整します。

25年度水道事業会計補正予算(第2号)

営業費用の受水費で378万円、特別損失の過年度損益修正損で12万3千円の増額補正を行うものです。

25年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)

補正総額は6856万円。国の補正予算に伴い、歳出で公共下水道工事請負費と流域下水道事業町負担金を増額し、その財源として国庫補助金の社会資本整備総合交付金の増額などを行うものです。

質問 3月末の公共下水道接続数はどれくらいになるのか。

答弁 2月末現在、供用済の普及人口が4250人で、普及率は21.3%。実際に接続された人口は3614人で、水洗化率は85%になる。

25年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

補正総額は4947万1千円。

保険給付費の介護サービス、介護予防サービス、審査支払手数料について、それぞれ執行見込み増に伴い増額し、それに対応した財源として、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、一般会計繰入金を増額します。

その他、介護保険法改正による電算システム改修費などを増額し、歳入歳出の差引不足額1276万9千円は基金から繰り入れます。

主な質疑

質問 訪問、通所介護が増えているとの説明があったが、今後の状況は。

答弁 増えていくと考えている。受け皿をどう確保していくのか、7町共同で模索している中。

質問 当初予算より相当給付が増加しているが、今の時点での見通しは。

答弁 不確定な部分もあるが、25年度は2千万円のマイナス。26年度末は運用計画に近いものになると想定している。

非常勤消防団員の退職報奨金支給条例の一部改正

消防団等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、支給額を5万円引き上げるもの。

幼保一体化施設建設工事請負契約の締結

椿井地区に建設する幼保一体化施設の建設工事の請負契約を締結するためのものです。

一般競争入札に付し、村本建設(株)が10億5510万6千円で落札しました。

主な質疑

質問 何社応募されて、落札率が何%なのか。

答弁 入札は3社、落札率は92.61%。

質問 エレベーターが17人乗りから13人乗りになっていくが、説明不足ではないか。

答弁 文教厚生委員会で説明を重ねてきた。

反対討論

エレベーターの問題については、スロープかエレベーターかということで、ずっと議論をしてきた。町が軽微な変更だと考えても、やはり議会に対しては誠心誠意、真摯な説明をすべきであったと思う。

事態の重大さはわかっているが、今回、一罰百戒の思いを込

めて反対する。

賛成討論

この請負契約の締結については、これからのまちの保育園というすばらしい施設をつくっていくためにも賛成をしたいと思う。

周辺住民のみなさんの理解と納得ができる説明をしていたからから工事をスタートしていただくとの意見を付して賛成する。

採決の結果、賛成多数で可決しました。

議員提出議案

平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

提出者 山口 昌亮
賛成者 植田 いずみ
(否 決)

消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書

提出者 窪 和子
賛成者 奥田 幸男
高幣 幸生
(原案可決)

集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書

提出者 植田 いずみ
賛成者 山口 昌亮
(否 決)

「手話言語法」制定を求める意見書

提出者 繁田 智子
賛成者 戎井 政弘
高幣 幸生
馬本 隆夫
(原案可決)

議会の動き

議会改革特別委員会 1月10日

- * 議会の日程について
 - ・ 会期の日程について
 - ・ 一般質問の日程について
- * 26年度実施予定のインターネット中継予算について

議会運営委員会 2月20日

- * 平成26年平群町議会第1回定例会の議会運営について

文教厚生委員会 2月26日

- * 自治会管理防犯灯のLED取替事業について
- * 幼保一体施設開設に伴う進捗状況について
- * 小学校再編成検討協議会の進捗状況について
- * スポーツ施設の運用について
- * 平群東小学校大規模改修工事の進捗状況について

予算審査特別委員会 主な質疑・討論

平成26年度の一般会計及び特別会計の当初予算が提案されました。

一般会計

歳入

質問 幼稚園の園児数が減ってきている要因は。

答弁 少子化がまず一つと、女性の社会進出も含めて保育ニーズが高まっていることも要因であると考えている。

また、幼稚園の教育内容については、PTAからも評価をいただいている。

質問 商標使用権運用収入71万7000円の内容は。

答弁 里の恵と新たに販売を



予定している清酒の販売本数に對しての商標使用料である。

歳出

質問 コミュニティバスの現状の分析と今後の方向性は。

答弁 北ルートは、利用者が少ない。幼保一体化施設の新園は、公共交通の利用を想定しており、北と南に分けて対応できるようにしたが、新園が開園していない段階では、利用状況は把握できない。

公共交通連携計画の中で、最低基準に達しない状況が続けば、ルート、ダイヤの縮小、場合によっては廃止ということも検討しなければならぬ。

今後は、住民の声をくみ上げ、公共交通会議、公共交通対策特別委員会も含めて議論して行く。

質問 子育て支援センター相談員の仕事内容は。

答弁 教育現場経験者を常駐で配置し、小学校を中心に、ひきこもりの子どもたちに対する関わり、また、就学指導委員会にも関わりをもって、乳幼児から就学前の子どもたち、小学



校、中学校と幅広く活動している。

質問 がん検診について、新年度の方向性は。

答弁 無料クーポン券が施行されてからワンクールが終わり、26年度は子宮がん検診が20歳新規対象者、乳がん検診が40歳となっている。

コール・リコールも含め、過去5年間でクーポン未受診者に再度通知を行い、無料で受けていただく体制を整えている。

質問 平群ブランドの認定状況とPR方法は。

答弁 イチゴの認定を第1弾として進めている。今後はブドウ、小菊、バラの主要農産物、また、加工品や自然・歴史的な文化財についても認定を考えている。

認定方法は、認定委員会の中で順次協議を進めている。

観光ホームページは、4月1日より見ることが出来る。

質問 通学路の安全対策は。

答弁 歩道と車道を区分けする整備が一番望ましいと考えている。26年度は、川原路線の拡幅に向け、委託料を計上し、検証していく。

質問 幼保一体化施設建設で送迎用の用地購入費が計上されているが、造成に対する許認可の手続きは。

答弁 現状が農地であるため、農地法の関係等もあり、許認可についても着実に手続きを進めていく。

質問 学校図書館司書の配置状況は。

答弁 25年度に北小学校に1名専任で配置、26年度では、平群小学校に専任で1名を配置し、中学校の放課後の支援及び南小学校の支援については、あすのす平群の司書でおこなっていく。

町の財政状況もあるが、読書活動推進計画に基づき予算確保に努力したい。

平成26年度予算

総額 117億3004万6000円

一般会計 65億4,000万円

特別会計 51億9,004万6000円

反対討論

固定資産税の超過税率は元に戻す姿勢が見られず、ひとり親家庭、教育資金の援助や学童保育料もまだ引き上がったままである。

家庭ごみ有料化も引き続き計上されており、青少年体験学習事業では、一部の子どもたちを対象とすることは、教育上、不公平を生じるのではないか。

近隣自治体に比べて高すぎる不燃物廃棄物処理委託料や、基準以上の値段で契約している土地借上料など、議会で指摘された問題の解決でも積極的な姿勢が見受けられないことから、予算に反対する。

賛成討論

行財政改革への取り組み。企業誘致などの施策を展開。子ども医療費の無料化が、高校1年生まで拡充。幼保一体化事業、各学校施設の教育環境の充実。健康診査、疾病予防事業などの充実。スポーツ活動の健康づくりの事業について確保された予算なので、賛成する。

採決の結果、挙手多数により原案どおり可決することに決し

ました。

国民健康保険特別会計

質問 低所得者の保険料軽減措置の内容は。

答弁 低所得者に対する保険料軽減対象世帯を拡大するもので2割軽減の場合は、基準額は変わらないが、所得基準額が上がることになる。5割軽減の拡大は、単身世帯も軽減対象となる。

高額療養費の自己負担限度額の見直しは、一般の部分と上位が細分化される。

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。



水道事業会計

質問 4月から消費税が8%に上がることにより、住民が負担する総額は。

答弁 4月から7月までが消費税5%、以降が8%という計算になり、給水収益だけで見ると月に約100万円、1年間では約1200万円となる。

質問 県営水道に全面移行するメリットと検討状況は。

答弁 自己水を処理する施設が老朽化しており、更新費用がかかる。県水は、自己水より若干原価が高くなるが、それを差し引いてもメリットが生じる。

危機管理の問題や耐震化もおこなっていく必要があることを考えると、県水に移行したほうが、将来的には有利かと考える。26年度において詳細な将来計画を立てる。

反対討論

県水が下げた分は、当然住民に還元するという意味で、消費税が上がる分をそのまま水道料金に上乗せするのではなく、県

水が引き下がった分に対応すべきである。消費税が上がる分、年間約1200万円の住民負担が増え、県水受水費では3000万円下がってくる。

住民の暮らしを守るためにも消費税増税分の転嫁は絶対許せないという立場から、この予算については反対をする。

賛成討論

衛生管理や水の工面も考えており、ライフラインを守る予算の確保については取り組まなければならないことから、この予算については賛成をする。

採決の結果、挙手多数により原案どおり可決することに決しました。

介護保険特別会計

質問 認定調査内容と調査員の研修状況は。

答弁 新規の認定調査は町職員2人で回っている。要介護、要支援とも認定調査員が状態を確認しており、確認方法は本人の申し出、家族への聞き取りをおこなっている。次ページへつづく

ケアマネージャーには、奈良県も統一して講習会が開催されており、指導に基づいた調査をしている。

調査員の研修は年1回、県で講習がされている。

質問 配食サービス事業の現状は。

答弁 25年度末は、配食サービスの予算378万円、決算見込み336万8000円、1月末現在6322食となっている。

調理場所はプリズムへぐり内だったが、委託事業者の経営効率の問題で募集しても応募者が少ないという状況や、プリズムの中にある厨房機器が10年を過ぎて老朽化し、修繕あるいは買い替えの時期がきていることで、事業者独自の厨房で調理して配食するように改めた。

業者の選定にあたっては、平群町の指名業者から公平に選定している。



反対討論

過去に100条委員会まで設置しておこなわれた配食サービスの委託内容が、全く議会に報告されない中、効率性を優先され当初の目的が大きく変わっているということが審議の中で明らかになった。

町内業者からの食材購入については正をおこなわないとの答弁で、高齢者の方に温かい食事を届ける、見守りをおこなう、町内業者の活性化の一端を担っている初の目的から大きく後退している状況については、当然改善を求めたいことから、この予算については反対をする。

賛成討論

介護保険制度については、いろいろな過程を経て現在に至っており、今後も介護保険制度を続けていくため、本予算については賛成する。

採決の結果、挙手多数により原案ごおり可決することに決しました。

予算審査特別委員会

委員長 山田仁樹

平成26年度一般会計・特別会計予算総括表

(単位：千円)

区 分	平成26年度 予算額	平成25年度 予算額	比 較		
			増減額	増減率 (%)	
一 般 会 計	6,540,000	6,795,000	△255,000	△3.8	
特 別 会 計					
住宅新築資金等貸付事業特別会計	40,063	44,132	△4,069	△9.2	
国民健康保険特別会計	2,660,000	2,502,000	158,000	6.3	
下水道事業特別会計	557,060	593,100	△36,040	△6.1	
農業集落排水事業特別会計	39,810	40,100	△290	△0.7	
学校給食費特別会計	71,722	73,979	△2,257	△3.1	
介護保険特別会計	保険事業勘定	1,510,959	1,370,502	140,457	10.3
	介護サービス事業勘定	13,482	9,911	3,571	36.0
就学資金貸付事業特別会計	750	1,080	△330	△30.6	
後期高齢者医療特別会計	296,200	282,236	13,964	5.0	
用地先行取得事業特別会計	0	139,200	△139,200	皆減	
特別会計合計	5,190,046	5,056,240	133,806	2.7	
企 業 会 計					
水道事業収益	516,952	496,308	20,644	4.2	
水道事業費用	543,104	477,456	65,648	13.8	
資本的収入	85,083	56,807	28,276	49.8	
資本的支出	163,597	124,548	39,049	31.4	

文教厚生委員長報告

去る3月4日、平群町議会第1回定例会本会議において、付託を受けました発議の審査結果を報告いたします。

発議第1号

平群町国民健康保険 税条例の一部を改正 する条例について

この条例は、国民健康保険加入者への税負担を軽減するため、医療に係る均等割額及び世帯別平等割額を減額するものです。

質問 25年度決算見込みで示された療養給付費交付金は、1億4211万円で確定か。

答弁 2月後半に出された数字で退職者医療費の伸びが少なく減額になったが、3月以降動く可能性があり5月初旬に確定する。

質問 発議による影響額は。

答弁 均等割、平等割をそれぞれ7000円引き下げると、約4800万円減額になる。

質問 退職者療養給付費がなぜ減額したのか。

答弁 (提出者) 療養給付費交付金は、退職者被保険者が受けた医療費を措置するもので、一般被保険者の一般療養給付費と違って、退職者の場合は本人の国民健康保険税、窓口負担、これ以外の分については基本的に全て措置される。

今回、約3800万円減額すれば、歳出の退職者の療養給付費も減額になる。

質問 基金と繰越金の合計額が、3億円以上あることについての考えは。

答弁 特別会計は、独立採算性が大前提であるが、地方公共団体財政健全化法ができ、特別会計も含めて赤字比率を一定試算することになり、基準としては赤字に近づけたい。

一方で、国民健康保険は療養給付費が単年で大きく増減し、安定的な財政運営をおこなうには、急に療養給付費が膨らんだとしても赤字にしないために基金を持っておく必要がある。資金収支は、最終的に決算をゼロにしたらいというものではなく、一定の柔軟的な財政調整基金が必要と考える。

おり、7月に中間報告が出る予定である。まだ未確定な部分もあるが、基金や剰余金等については、町の条例等で積み立てているので取り上げられることはないかと確認している。県統一化までにゼロにしておくことがベストと考えている。今の平群町の国民健康保険税は、奈良県下、市町村の平均よりも低く、このことも加味する中で、残った場合は取り扱いを考えたい。

質問 国保税の減税について、町長の考えは。

答弁 正確を期した判断をしたいので、4月には調整交付金や療養給付費交付金が確定するため剰余金がはつきりしてくる。今後の医療費の増高も考えられることから、もつしばらく待っていたら、局の責任として提案していく。また、29年度の県下統一のことも考慮しながら決断していきたい。

質問 決算見込みが出た時点で、諮問機関である国民健康保険運営協議会に提案するのか。

答弁 相当正確な決算が出た段階で諮問をおこなう、一定の理解を得たうえで、議会に提案して頂く。

反対討論

決算を見据えながら減額をするために、国民健康保険運営協議会に諮問するという答弁があり、過去3回の減額措置においても、国民健康保険運営協議会で諮り、文教厚生委員会で協議し、議会に提出されたことを道筋と考え、この発議について反対する意見が出された。

賛成討論

21年度からの国保会計の決算状況から見ると、国保会計にとってプラス要因となる歳入の前期高齢者交付金の伸びは、4年間で3億2355万円、マイナ要因となる歳出の一般療養給付費、後期高齢者支援金、介護納付金の伸びで、合わせて1億4225万円となり、3年連続引き下げによる1億900万円の減額分を差し引いても、計算上、今回減額しても会計としては収支に影響がないことから賛成する意見が出された。

採決の結果、挙手多数で可決しました。

文教厚生委員会

委員長 窪 和子



答弁 国と都道府県、市町村のワーキングチームで会議をして

質問 国保の広域化による基金の取り扱い。

答弁 (提出者) 23年度決算で2億2741万4000円、24年度決算で約2億5200万円。25年度の決算はまだ出ていないが、いまの段階で2億8000万円の剰余金となる見込みである。

町政を問う!

一般質問一覧

森田 議員	<ol style="list-style-type: none"> BUYへぐり運動の推進を 安全な道路等に改修を 無灯火で歩行を止める運動を
馬本 議員	<ol style="list-style-type: none"> デマンドタクシー導入を 竜田川駅にスロープの設置を 平群駅前線東側区域の拡幅を 高齢者の体育施設利用料金無料化を
高幣 議員	<ol style="list-style-type: none"> 観光基本計画と平群の観光活動について 全国難読へぐりサミットについて スポーツセンターの太陽光発電施設等について
奥田 議員	<ol style="list-style-type: none"> 町営住宅の現状について 健康長寿奈良県No.1を目指すために
窪 議員	<ol style="list-style-type: none"> 認知症対策の推進強化を 高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種助成の早期導入を がん検診受診率向上のための無料クーポン券の配布継続とコール・リコールのさらなる推進を 「ヘルプカード」の普及促進を 新園「子ども園」で、病児・病後児保育の実施を
山田 議員	<ol style="list-style-type: none"> 住民票・印鑑証明等の休日他時間外交付について 西小学校跡地の利活用について
山口 議員	<ol style="list-style-type: none"> ひとり親世帯への教育資金助成制度の復活を 非婚のひとり親に「みなし寡婦控除」適用を 新婚世帯と未就学児世帯の賃貸家賃に補助を
井戸 議員	<ol style="list-style-type: none"> 7000万円かけて行う定住者促進政策は人口増加につながらないのでやめてほしい より多くの方に見守りの協力してもらうため、小学生の下校時に町内放送を流してはどうか 平群道の駅にRVパークの併設を
植田 議員	<ol style="list-style-type: none"> 生活保護世帯への指定ごみ袋の支給について 包括支援センターの委託問題について
繁田 議員	<ol style="list-style-type: none"> 空き家の有効活用について 安心のまちづくり 地域包括支援センターを直営で

同意



近藤 恭子 氏
住所 東大阪市

近藤恭子氏を監査委員に選任することを全会一致で同意しました。

奈良県町村議長会表彰



奥田 幸男 議員



下中 一郎 議員

3月27日、奈良県町村議会議長会定例総会において、議会議員として15年にわたり地方自治の振興発展に寄与されたことに対し、奥田幸男、下中一郎の両議員が奈良県町村議会議長会長表彰を受賞されました。

安全な道路等に改修を



町道の路面補修等によって、道路面と路肩に段差があるため、実際、人や車が通れる道路幅員が狭くなっており、歩行者が車を避け、運転者は歩行者を避けなければならぬので、非常に危険な道路になっている。道路端の段差が原因が判らないが、今年の1月29日午後9時過ぎ、町道川原路線の側溝に転落し

質問



森田 勝

て三郷町の方がお亡くなりになられた。事故があった箇所は、路肩に段差があり、街灯も少なく暗く、転落防止柵もなかった。

原因の如何を問わず町道の側溝に転落して亡くなられた事を町は重く受け止めなければならぬ。

そこで、町は今回の事故を教訓に、歩道、側溝、溝蓋、防犯灯、歩道に代わる路側帯等を含む町道の危険性を総点検すべきではないか。

答弁

道路管理については、毎月2回道路パトロールを実施して、路面、側溝、付属施設等の点検を行っている。また、交通量や利用頻度の高い町道1級、2級路線の総点検は既に職員で実施したが、直ぐに安全対策を講じる必要性のある危険箇所は掌握していない。

デマンドタクシー導入を

質問



馬本 隆夫

コミュニティバス運行の検証結果は、H25年4月～H26年1月迄の西山間ルートでは1人当たり町

平群駅を起点とした場合、西山間地域を除いたエリアは約1600円以内で運行可能とのことでありました。

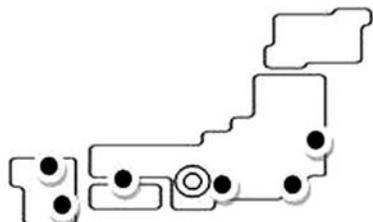
デマンドとコミュニティバスを運行しながら利用者のニーズ把握・採算・需要等を検証し、コミュニティバスのルート・ダイヤを決定するためにも、早急に予約制乗合タクシー(デマンド)を導入すべきであると思います。

答弁

最低需要基準に達するよう、今年の5月～6月頃に新ルート等取り組んで参ります。また、公共交通対策として、デマンド交通の導入も含めて検討して行きたい。



全国難読へぐり サミットについて



難読平群サミットを考
えては。全国で「へぐ
り」と名乗る地域はく
つがある。「へぐり」は
海洋性の地名。福岡、山
口、三重、千葉県にある
と聞く。この様な市町村
と連携して都市間交流を
企画してはと思う。その
地域には「平群池」「平
群山」「平群神社」、源
義仲の子である平群丸に
縁がある「平群天神社」
「平郡島」等、平群の地
名は全国に散在する。中

質問



高幣 幸生

には「平群の和歌囃子」
と云う太鼓のリズムもあ
ると聞く。この様な「へ
ぐりサミット」をどの様
に考えるか。
この事から若者や女性
の活性化や交流、文化・
体育等の活性化につなが
るサミットを。

答弁

「平群」は歴史が古
く、この地を治めた「平
群氏」という名が有名。
「へぐり（平群・平
郡）」という地名は全国
にある。提案の「全国難
読へぐりサミット」は同
じ地名の市町村と連携し
て本町が企画する「平
群」から全国への情報発
信は、知名度向上とし
て、観光PRや交流によ
る地域活性化につなが
る。町の地域資源を活か
す「新しい観光」や町の
知名度、魅力の向上施策
として貴重なアイデアと
して研究課題としたい。

健康長寿奈良県ナンバーワン

を目指すために

質問



奥田 幸男

奈良県知事が、健康長
寿日本を目標にしたこと
に対し、平群町は健康長
寿奈良県ナンバーワンを
目標実現するため、どの
様なことを考えているか
具体的に説明ください。

答弁

奈良県は、平成25年か
ら10年後の健康寿命を
「男女とも日本一にす
る」ことを目標としてい
ます。奈良県の健康寿命
は、男性が全国5位、女
性は19位です。
平群町では、男性の健
康寿命は県下で15位、女
性は22位です。
「健康寿命」を伸ばす
ため、要介護予防と機能
回復の取組みの推進や若
くして亡くならないため
の適時・適切な医療の提

供、運動や食生活の改
善、生きがいづくりや健
康的な生活習慣の普及啓
発、要介護の原因となる
疾病予防や早期発見と健
診後の保健指導、介護予
防や機能訓練、早世原因
となる疾病の早期発見や
予防の健康教育など様々
な健康指標も活用する中
で取り組んでいます。
保健、医療、福祉、介
護、運動等の総合的一体
的な連携を図りながら、
住民参画の健康平群21計
画の推進によって、若い
ころからの健康づくりを
進める事は勿論のこと、
様々な活動の場づくりの
提供も含め「元気で長生
き」な健康長寿の実現を
図っていきます。

認知症対策の推進強化を



高齢化の進捗に伴い65歳以上の高齢者の4人に1人が、認知症及び予備軍と推定され急増しています。認知症は早期発見・早期対応により病気の進行を遅らせることができます。住みなれた地域で安心して生活できる体制を整えるためには、認知症予防対策の推進強化が急務であり、本町の取り組み

質問



窪 和子

を伺います。

①認知症高齢者の町の実態と今後の推移 ②認知症サポーター養成講座の開催を ③認知症治療拠点と相談窓口 ④「若年性認知症」患者・家族へのサポート体制

答弁

①本年2月末で65歳以上の高齢者数は64,533人で、高齢化率は33.01%である。平成37年には36.9%と推定する。認知症高齢者数は、介護認定者9,977人のうち4,600人で、予備軍は8,000人と推定する。②認知症サポーター養成講座を平成26年度で早急に開催する。③県指定病院は2ヶ所で、町内にも「物忘れ外来」設置の医院がある。地域包括支援センターでも相談を受けている。④介護や医療の各種助成もあり、パンフレット等を配布したい。

西小学校跡地の

利活用について



山田 仁樹

質問

2月23日地域説明会が開催され、町は、「記念館」「歴史資料館」「6次産業化の推進拠点」「福祉団体への貸与」と4つの活用案を示されたが、①民間等学校誘致は検討されたのか？



②庁舎として利用を？ 役場庁舎は災害時、対策本部としての機能を十分発揮する必要がある。

交通対策は平群駅からシャトルバスで送迎し、朝夕はスクールバスとし

て運行。窓口業務は出張所等を平群駅付近に配置する事で解決できます。

財源は国等に理解を求め、緊急防災減災事業債等の補助金を模索し、現庁舎地の売却により3億円の歳入も見込めます。西小跡地利活用計画検討委託費に7百万円ものお金をかけ、無駄な検討をするより庁舎移転の様々な検討に公費を費やす方が賢明だと考える。

答弁

①民間売却等は土地所有権問題が解決していない現状では現実的でない。

②庁舎としての利用は選択肢の一つとして検討事項に加えて行きたい。

ひとり親世帯への 教育資金助成制度の復活を



山口 昌亮

質問

庶民のくらしは「決まって支給する給与」が昨年12月まで19カ月連続で前年同月期を下回るなど、ひきつづき厳しい状況。とくに母子世帯の平均収入は223万円で全世帯の47%、児童のいる世帯の38%と、さらに厳しい状況に置かれている。

また、4月から消費税

が増税され、所得の低いひとり親世帯は、より一層くらしを脅かされる。そこで、岩崎町長が廃止した、ひとり親世帯への教育資金助成制度を復活させるべきだと考えるがいかがか。

ちなみに、町内の福祉医療を受給しているひとり親世帯は131世帯で子どもは194人。以前と同様の月2500円の助成での年間経費は582万円。

答弁

個人給付は廃止する方向で進むことになったので廃止した。その頃より児童手当も拡充された。ひとり親家庭の自立施策としては、相談事業や就職支援の充実を図ってきた。

子育て、教育に力を入れるべきと思っている。困窮者対策は就学支援をしている。あれもこれも出さない。当面は難しい。

7000万円かけても 人口増につながらない



井戸 太郎

質問

全国的に人口が減少しており、人口政策に取り組む自治体が増えていく。

平群町も、平成26年4月以降に新たに住宅を購入、建設した住民を対象に、建物のみ固定資産税を3年間減免するという方針を打ち出している。

しかし、「固定資産税」の認知度は低く、その減免額は、家の価格に対してとても少ない金額。これで平群に住むこ



とを決意する人が増えるのか。私の調査では、そのような人はいない。そこで、お聞きしたい。

①発案から決定までの流れ、専門家の意見は。

②固定資産税減免が人口増につながるという論理的データの根拠は。
③住宅購入者のニーズ調査は。

答弁

①議員の要望、先進地研究、議会などで議論をしてきた。専門家からは意見を聞いていない。
②論理的データの根拠はない。

③調査はしていない。
④子ども医療費無料化など、数ある人口政策の一つとして考えている。効果はわからないが無駄遣いと思っていない。

生活保護世帯への 指定ごみ袋の支給について



昨年10月から、平群町で指定袋による可燃物の回収(ごみ有料化)がスタートしました。そのなかで、生活保護世帯については、一定枚数支給されることになっていました。支給にあたっては、保護費の支給日に受け渡しがされているようですが、全ての方が保護費を取りにいられているわけではありません。振込み

質問



植田 いずみ

の方もありません。

しかし、振込みの方には支給される袋が渡されていませんでした。早急な改善を求めます。

また、支給される袋も世帯人数で大きさと枚数が決まっています。

たとえば、1人世帯の方なら20ℓ袋2か月分として10枚渡しています。(200ℓ分)

しかし、夏場など生ごみを置いておけないので10ℓの袋を20枚(200ℓ分)でも同じことから、袋の大きさは選択できるよりにすべきと考えます。早急な改善を求めたいと思います。

答弁

2世帯の振込みの方に袋が支給されておらず、代理申請をしてもらい支給済みとなっています。また、袋の大きさを選択できる件は、廃棄物減量等推進審議会に諮って考えていきたい。

安心のまちづくり

質問



繁田 智子

①災害時や非常時に安否確認をする中で救急救命キットの存在は非常に大きいのですが、普及率は19・28%にとどまっています。病歴や服薬、主治医の情報など、生命にかかわる重要な情報が記されています。

今後普及率を上げるための方策は?

②防災計画では災害時、地区の医師会や歯科



①救急救命キットは県下に先駆け、平成23年5月から実施し、独居の高齢者だけでなく、1238件に設置されている。今後は、民生児童委員や自治会を通じて、周知を行っていききたい。データのご協力のもと、医療救護班、歯科医療救護班体制を整備するようになっっていますが、医療品や医薬品の確保はできているのですか。

答弁

②非常時の医療品や医薬品については、現時点では、町医師会との協定のもと、医療機関が保有する医療品や医薬品を活用していききたいと考えている。今後は、町内の調剤薬局とも協定を締結するなどの方法で、医薬品等の確保に努めたい。

町の話題

平成26年3月23日、午前に平群東小学校、午後平群西小学校で閉校式が厳粛に執りおこなわれました。

東西両校は、平成26年4月から統合され平群

平群東小学校では、梅花女子大学のチアリー

デイング部がパフォーマンスを披露しました。体育館の天井に届きそうなくらいの大きなジャンプなどアクロバティックな演技で魅了しました。

演技の後、子どもたちや、保護者、先生方と交流がありました。平群西小学校では、PTAの演劇、先生方による歌のパフォーマンス、子どもたちと歌手グループ・アルケミストとのコラボレーション、子どもたちによる「南中ソーラン」の踊りもあり、盛りだくさんの内容で大盛況でした。

両校とも140年以上の歴史を持つ小学校です。多くの卒業生の方々が、思い出の詰まった校庭を名残惜しみ、涙する方も多くおられました。閉校式に参加して、小学校というのは世代を超えた地域の「コミュニティ」の場であることをあらためて実感しました。

ちぢみならら 東小 西小



梅花女子大学チアリーディング部と一緒に演技



アルケミストのミニライブと一緒に「あの空」を合唱

編集後記

東日本大震災から早くも3年の月日が流れました。

未曾有の災害により一瞬のうちに1万数千人もの尊い生命が失われ、30万人が家を奪われました。被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

しかし、いまだ多くの人々が仮設住宅などでの避難生活を余儀なくされている現実の中、震災の記憶の風化が懸念されています。

私たちはごまかでも「風化」と「風評」に立ち向かう、すべての被災者の皆さんが復興を成し遂げるその日まで、忘れないう、そして寄り添い続けたいと思います。

そして、災害に強い平群の町にするため、防災・減災対策を、皆さんと共に力を合わせて一層取り組んでいかねばなりません。

井戸 記